

参加者は、タグ内蔵のリストバンドを最寄のチェックポイントで受け取り、「スタンプラリー」に参加します。チェックポイントには広域通信機能を備えたタブレット及びUSB接続リーダライタを設置します。かざされたリストバンドタグ情報を本部へ送信するとともに、リストバンドタグへ通過履歴を記録します。各チェックポイントでは、リストバンドをかざすことで参加者自身の通過履歴を照会することもできます。全ポイント又はコース別ポイントをゲットした方へ記念品を差し上げます。

観光協会等、イベント本部



本部設置 管理用PC



簡単なアンケートにお答えいただけます

Android Tablet「Nexus7」LTE内蔵モデル等
RFIDリーダライタ AMI2000（4モードマルチ）USB接続版 RFIDタグはISO15693 or Type-A
（接続にあたって事前の検証が必要です。）

リストバンドに識別シールを貼り、観光客の特徴を把握します。
識別シール M-学（男性 学生） M-20（男性 20歳代） W-50（女性 50歳代）

観光地 各ポイントへの設置



USB接続 RFIDリーダライタ



モバイルバッテリーor太陽光パネル



資料出所 横浜市金沢自然公園より

- ①参加者のカテゴリー別の訪問先の調査
 - ②各ポイント付近の滞在時間
 - ③特に人気のあるスポットの把握
 - ④参加者の意見の収集
 - ⑤参加者の動線の把握
 - ⑥簡単なクイズで景品をゲット
 - ⑦帰着していない人の把握
 - ⑧周辺スポットの案内
- (ほか)